

## 4. 調査方法

### 4.1 河川調査

#### 4.1.1 河川敷における河川ごみ散乱状況調査

河川敷におけるごみの量（容積）の把握を目的とし、調査を実施した。各河川敷における調査地点は、平均的な量のごみの場所とし、河川の流れに垂直な10mの帯状の範囲で調査を実施した。地点内のごみの量について、ランク付け※を行った。

※参照：「河川ゴミ調査マニュアル(平成24年3月 国土交通省水管理・国土保全局河川環境課)」



調査地点全景



散乱ごみ確認



現地の散乱ごみ

#### 4.1.2 河川敷における河川ごみの組成調査

河川敷におけるごみの種類（個数・重量・容積）の把握を目的とし、調査を実施した。各河川敷における調査地点は、散乱状況調査と同一地点とした。原則として、水際に近い場所を優先に、1辺50cmの正方形のコドラートを設置し、コドラート調査枠ごとに全てのごみを回収、分類及び個数の集計を行った。



試料回収状況



コドラート内試料



回収した試料

#### 4.1.3 河川マイクロプラスチック調査

水中のマイクロプラスチックの個数・形状・材質を把握することを目的とし、調査を実施した。試料の採取は、平水時に目合い0.3mm、口径300mmのプランクトンネットを用いて実施した。採取時間の目安は、ろ水量が20 m<sup>3</sup>程度となる時間とした。



橋梁からの採取



河川での採取



ネット洗い

## 4.2 海岸域調査

### 4.2.1 漂着プラスチック調査

海岸の漂着ごみの量と種類（個数・重量・容積）を把握することを目的とし、調査を実施した。各海岸における調査範囲は汀線方向の幅 50m と、調査時の海岸汀線から海岸の后背地までの間を対象とした。調査手法はガイドライン※に準拠し、実施した。

※参照：「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン(環境省)」



調査範囲



試料回収状況



回収した試料

### 4.2.2 漂着マイクロプラスチック調査

海岸に堆積しているマイクロプラスチックの量と種類（個数・形状・材質）を把握することを目的とし、調査を実施した。各海岸における汀線で 40cm 四方の方形枠を設置し、砂表面から 3cm 分の砂を採取した。採取試料をマイクロプラスチックフリー海水と混合し、上澄み液を 0.1mm メッシュのネットで濾した残渣を分析試料とした。



試料採取状況



試料混合状況



分析試料のろ過